



安部佛具店 大分本店



大分市内の商業施設パークプレイスサニーウォーク店で
お嬢さんの足立有規さんと安部道弘社長

「綺麗・可愛い・格好いい」の3Kがモットー
自ら設計し自ら作り出す強み

安部佛具店(大分市)の本店一階の整然と展示された仏壇と仏壇内の正しく仏具展示には驚かされる。「浄土真宗の仏具に関しては、本山が示した作法の手法がありますから、それに従っています。中央を基準に置く、真っ直ぐ置くことが大切ですので、時には物差しを使って香炉などの仏具を置きます」と安部道弘社長は説明する。

「仏壇とは家族の誇りと先祖の尊厳です。そして自分の都合を優先させてはならないという先人の知恵に気づくべきです。最近ではお客様の気持ちに迎合し居間に似合うかどうか、掃除が簡単で安価で……そのことを優先させるとお客様の品格を落とすばかりです。私たちの仕事はお客様の品格を高める仕事です」と仏壇の在り方を安部社長は示す。

安部佛具店の創業は昭和26年。宇佐市法鏡寺の作業場で仏壇の修理を始めたことが端緒となり、その後、作業場が中津市、宇佐市に移った後、昭和42年大分市顕徳3丁目に店舗と作業場を開店。本店は改築と増床を繰り返して、平成14年に現在の大分市豊鏡に大分本店を開設。平成18年には大分市高城新町に高城モダン館を新築オープン。令和2年にパークプレイス店をオープンさせている。時代に合わせた展開を行ってきたことになる。

安部社長は創作と工夫の人である。押入や小さな仏壇を改造して丁度良い仏壇に作り替える事例は無数にある。今回の取材では実際に施工例の数々をパソコンで見せて頂いたが、手練れの大家さんが仏壇を改造する様子を撮影し、その画像を整理分類し、すぐに呼び出すことができるアーカイブが構築されている。改造の記録は数多くあり、お客様への提案プロモーションともなる。

納骨壇の堂内荘厳においても、安部道弘社長は、自らの構想を実際の形に作り上げ実現してきている。本店の裏側には木工場と塗装場があり、二階には位牌文字彫刻機とレーザー加工機。そこですべての加工工程が行われ、拝見したのはテーブルLEDの見本。阿弥陀三尊の光背を自らデザインし、制御装置を作り、人感知センサーによりLEDが発光するというもの。全てをメーカーに任せるのではなく、自分が思うように作ることができる。それも高い完成度を実現するのが安部社長だ。「プランを立て現場を思いながら実現に向かいます。実現するプロセスで



仏壇改造の実例 安部佛具店のデータアーカイブより
仏壇改造のデータは無数というレベルで蓄積されている

安部佛具店(大分)

創意工夫で市場を創出する情熱

「綺麗・可愛い・格好いい」の3Kがモットー



整然と正しく荘厳された仏壇が並ぶ安部佛具店本店1階
安部道弘社長の信念を反映する展示



人感センサーにより点灯、ゆっくり消灯するLED(同社HPより)
安部道弘社長がデザインした光背
自ら製作したLED装置で制御される光で堂内が荘厳される



電源ケーブル無しで発光する「南無阿弥陀仏」(同社HPより)



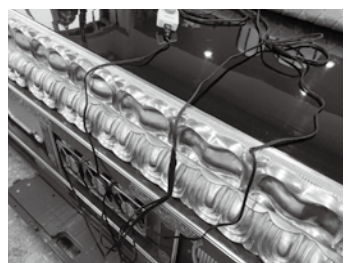
発光する「南無阿弥陀仏」
アクリル板素材



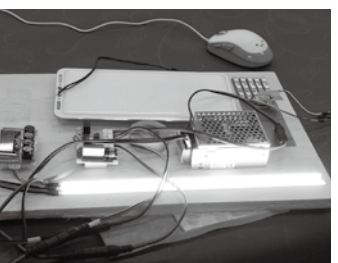
発光する天蓋の設計



発光する天蓋 安部社長の創意により生まれた(同社HPより)



冷却ファン装備の護摩壇



安部社長自作のLED制御装置